

里山活動

本市は、東三河の母なる川ともいふべき豊川の源流から中流域に広がる「里山都市」です。名古屋市の1.5倍の面積を有し、中央構造線が市内を貫き、日本の滝100選の「阿寺の七滝」、日本の地質100選の「鳳来寺山」、にほんの里100選の「川売」といった日本の冠たる数々の恵まれた名勝・自然があります。

これらの恵まれた自然環境を活かし、自然体験学習やアウトドアスポーツの拠点として情報発信を行い、市民による活動の活性化やアウトドアスポーツによる地域交流活動を推進します。



(1)自然に親しむ(親水・親林・親土)活動の推進

【現状と課題】

市の特出すべき特徴である自然環境は、住民の居住空間そのものであり、これを市民共有の財産として、良好な状態で将来に引き継いでいかななくてはなりません。

そのためには、市域の83.5%を占める森林、清流豊川や貴重な中間湿原群、棚田など身近な自然環境を理解し、その豊かさを認識することが必要です。

これらの豊かな自然環境を学習のフィールドとして、子どもから高齢者まで、多くの市民が自然環境を学ぶことができるように、市民グループやNPOなどと連携した自然体験型活動を推進します。



千枚田 田植え体験

【基本的方策】

①市民グループ・NPO等と連携した自然体験型活動の推進

市民グループ・NPOの活動と連携した自然体験型活動の推進

市内で活動している多くの市民グループ・NPOと連携して、自然を活かした体験型活動を推進します。

市民参加の森づくりの推進

※¹地域再生計画「森林総合産業の創出」の一環として、森林を対象とした体験学習を開催し、「森づくり」「人づくり」を推進します。

※²屋根のない博物館ガイドツアーの開催

多様で変化に富んだ郷土の自然環境に対する認識を深めるため、市内に広がる様々な自然環境を巡るガイドツアーを開催します。

②自然探索マップづくりへの取り組み

自然探索ウォーキングマップの作成

市民が気軽に豊かな自然に触れ合える場として、既存の自然を探索するウォーキングコースを活用し、自然探索ウォーキングマップを作成します。

※1 地域再生計画「森林総合産業の創出」

山村の過疎・高齢化やそれに伴う林業従事者の不足、採算のとれる産業として成り立ちにくい森林関連産業を取り巻く状況を背景として、これまでとは異なる多様な角度から「森との関わり」を創出し「新たな日本の森づくり」を進めるものである。取り組みは、山林所有者の協力を求めて活動地とし、市内の森林NPO活動を中心に、森林に関する基礎知識の学習や、間伐・枝打ち・下草刈りなどはもとより、森づくりと人材育成の仕組みを構築する。

※2 屋根のない博物館

旧鳳来町で策定された「町ごと屋根のない博物館構想」を引き継いだ事業。

美しい自然と景観と個性あふれる文化財に目を向け、町全体が屋根のない博物館として、多くの自然観察会や体験活動を実施。



板敷川（宇連川）

(2)自然環境保護活動の推進

【現状と課題】

地球温暖化や生態系の破壊など、環境問題が深刻化しています。本市には、先人から受け継がれてきた多種多様な野生生物が生息する豊かな自然環境が市全域にわたり存在しています。

持続可能な地域社会の実現のためには、地域に住む一人ひとりがこうした地域の自然環境を保全し、活かしながら、学校や地域が連携して環境教育・学習を進めることが大切です。

市内の豊かな自然環境を次世代へ引き継いでいくため、環境に関する講演会などの開催を推進し、環境保全意識の高揚を図ります。

【基本的方策】

①環境美化活動の推進

環境美化活動の推進 「しんしろクリーンフェスタ」「川と海のクリーン作戦」
不法投棄をなくし、散乱ごみのない美しい街づくりを進めるとともに、市全体の環境保全に対する意識の高揚を図るため、市民・事業所・行政が協働で行う清掃活動を実施します。

②環境意識啓発のための施策展開

「*チーム・マイナス6%しんしろ」への加入促進
温暖化の防止施策を無理なく、楽しく、できるだけ大きな成果をあげるよう市民・事業所・行政の結束力を強め、市全体が一つのチームとなって取り組む「チーム・マイナス6%しんしろ」の活動を推進します。

「キャンドルナイト新城」の開催
不要なものを再利用して作った手作りエコキャンドルを灯し、電気などのエネルギーを使わずにゆっくりとした夜を楽しむイベントを行い、省エネルギーなどに対する考えを深める「キャンドルナイト新城」を実施します。

③環境教育・体験学習の推進

環境教育の推進 「親と子の走る環境教室」「市民環境講座」
環境問題に対して理解を深めるため、親子で参加できる市内外のリサイクル工場や環境関連施設の見学や環境に関する講座を開催します。

環境体験学習の推進 「水生生物調査」
市内小中学生や行政区と一緒に地域を流れる河川の調査活動を実施し、水質の状況を把握するとともに、地域の自然にふれあう機会を提供します。

④自然環境保全活動の推進

棚田の保全

ボランティアによる棚田の環境整備や都市部住民の稲作体験、自然観察会等を行い、農村特有の豊かな自然環境や美しい景観、文化や営みに触れることのできる空間づくりを推進します。

湿原環境の整備・保全

「生態系調査」「勉強会の開催」

湿原に見られる貴重な植物や動物の生態系を保護・保全し、自然環境の整備活動を推進します。

自然環境基礎調査の実施

自然環境の基礎調査を通して、地域の地形や地質、市内に生息する動植物の実態を把握し、自然環境の保全と希少種等の保護を進めるとともに、市民の環境への理解や学習の推進を図ります。

※チーム・マイナス6%しんしろ

新城市民が一つのチームとなり、市民・事業所・行政の結束力を強め、温暖化の防止施策を無理なく、楽しく行い、そして、できる限り大きな成果を挙げることを目的として結成。「チーム・マイナス6%しんしろ」に個人でチーム員登録した方は、環境省のチーム・マイナス6%にも登録される。



地域で取り組む水生生物調査

(3)自然を活かしたスポーツ活動の推進

【現状と課題】

本市には、清流豊川を始め、鳳来寺山、鳳来峡や乳岩峡からなる険しい岩山、阿寺の七滝、鳳来湖や朝霧湖、さらに600～700m級の山々に囲まれた作手高原など、豊かな自然に恵まれています。

この豊かな自然は、マウンテンバイク・フリークライミング・カヌーなどのフィールドとして市内外から多くの方々に利用されています。

市としても、豊かな自然を活かして「*DOS地域再生プラン」を策定し、アウトドアスポーツによるまちづくりを推進しています。

アウトドアスポーツによる地域の活性化を図るため、開催している「新城ラリー（自動車ラリー）」「ツール・ド・新城（自転車ロードレース）」などの大会を継続して開催するとともに、新たな大会の誘致や大会への市民参画などを推進します。



ツール・ド・新城

【基本的方策】

①アウトドアスポーツによる自然とのふれあいの推進

アウトドアスポーツ体験講座の開催

多くの方がアウトドア活動を体験できるように、アウトドア活動の場を確保し、各種団体・NPO等と連携した体験講座の開催を検討します。

サイクリングコースの設置

だれもが身近で気軽に楽しめ、市内の豊かな自然を満喫できるサイクリングコースを設置します。

②大会の継続実施及び新たな大会の誘致

各種事業の継続実施と新規事業の誘致

すでに実施している「新城ラリー」「ツールド新城」等を継続して開催していくとともに、新たなアウトドアスポーツにも目を向け、新規種目の開拓を積極的に推進します。

③市民グループ・企業等との連携強化

市民グループや企業等との連携強化

新たな大会の誘致や大会開催時に、主役となり、協力者となるパートナーとして、市民グループや地元企業等との連携の強化を図ります。また、大会運営のスタッフとして市民等が積極的に参画できるように、ボランティアスタッフ登録制度の制度化を検討します。

④アウトドアスポーツ関連情報の充実

アウトドアスポーツ関連情報の充実

各種アウトドアスポーツイベントの関係団体や大会の情報をだれもが検索できるように、市ホームページなどを活用し、効率的な情報発信に努めます。

※DOS地域再生プラン

新城市の地域資源である豊かな自然を活用したアウトドアスポーツのまちづくりを進め、経済の活性化と雇用の創出を図る。道路・河川使用許可等の手続きの円滑化に伴い、アウトドアスポーツ大会を積極的に誘致し、流入・交流人口の増加につなげ、若者が恒常的に集う元気なまちの実現を目指す。



新城ラリー

(4) 鳳来寺山自然科学博物館の有効活用

【現状と課題】

この博物館は、我が国で初めての二重展示方式を採用しており、第一展示室は総合展示で生態展示を、第二展示室は、学習・研究用として学術上貴重な資料を多く展示しています。

また、自然学習会などを通じて、自然に対する知識や理解を深めるとともに仲間の交流や友好を図ることを目的として「*友の会」を設立しています。個人・家族・学校のクラブ単位で入会でき、様々な博物館行事等に参加できる仕組みとなっています。

市民の自然学習の拠点として、魅力ある展示や講座を開催するとともに、友の会会員の増加に向けて啓発を図ります。



鳳来寺山自然科学博物館

【基本的方策】

① 野外学習会等の体験型講座の開催

各種自然体験講座の開催 「野外学習会」「ガイドツアー」等

各分野の学術委員を講師とした野外学習会や鳳来寺山周辺の四季折々の自然に親しむ博物館ガイドツアーなど子どもから大人まで楽しめる各種自然体験講座を開催します。

② 魅力ある常設展示及び特別展の開催

地域の自然をテーマとした常設展示及び特別展の開催

足元の自然をテーマに郷土のすばらしい自然を様々な角度から掘り下げた常設・特別展を開催します。

市民手づくりによる特別展の開催 「みんなで作る博物館」

友の会会員や市内小中学生が日ごろの活動の成果を発表し、活動に関する情報交換の場として、準備から展示まですべて市民の手づくりの「みんなで作る博物館」を開催します。

③ 友の会会員制度の充実

友の会会員への加入促進

子どもから大人まで多くの方が友の会の活動を通して、自然に対する知識や理解を深めてもらうように、会員制度の拡充と会への加入促進を図ります。

※友の会会員制度

自然観察会などを通じ、自然に対する知識や理解を深めるとともに仲間の交流や友好を図ることを目的として設立。個人・家族・学校のクラブ単位で入会でき、様々な博物館行事等に参加できる仕組みとなっている。会員の期間は1年間で、現在、約800名の方が入会されている。